

令和8年度 平岸中学校区「小中一貫した教育」グランドデザイン

平岸中学校 平岸高台小学校 のぞみ分校 平岸西小学校

【子どもの実態】

- ・素直で明るく、他者に優しく関わろうとする子どもが多い。
- ・「自分が必要とされていると感じる」の肯定的回答の割合が低い。

【地域の実態】

- ・保護者や地域が学校の教育活動に協力的である。
- ・共働きの家庭が多く、保護者が「家庭での学習」に関わる時間を取ることができない家庭がある。

札幌市の「小中一貫した教育」の目的

「自立した札幌人」の実現に向け、義務教育段階において「知・徳・体の調和のとれた育ちの一層の充実を図る。

9年間を通した子どもの学びのつながり

子ども理解・生徒指導の連続性

推進の視点

教職員の連携・協働

家庭や地域との関わり

共通重点目標

平岸中学校区の目指す子ども像(案)

やさしさと思いやりにあふれ、「しなやかさ」と「たくましさ」をもち、自ら判断して主体的に行動する子ども

「学ぶ力」の育成

豊かな心の育成

健やかな体の育成

- 子どもと教師が「**目指す授業のイメージ**」を共有する。
- 自分の考えを自分の言葉で伝える場(**アウトプット**)を大切にすることによって、**主体的に学び続ける姿**を引き出す。
- 学校の授業と「家庭での学習」との**効果的な組合せ**を図り、**目標をもち、粘り強く取り組む力**を育む。
- 「何を・どのように学んだか」を**振り返る力**を高める。

- 道徳教育「共通重点目標」の実現に向けた取組を展開する。
〔共通重点目標〕
人間尊重の精神を基盤として、**思いやりの心**をもって友達と**よりよく関わり合い**、生活しようとする態度を育てる。
- 共通重点内容項目を「親切・思いやり」公正・公平・社会正義」とする。
- 役割意識を高め仲間のために役立つ**集団活動の充実を図る。

- 目標をもち、進んで**体力向上や健康維持増進に努める子どもを育む指導の充実を図る。
- 運動量を確保し、運動の楽しさを味わえる**体育の授業や部活動などの充実**を図る。
- 体力向上に向けて自ら進んで運動したくなる**環境を整え、体育的活動の充実を図り、運動の日常化**につなげる。
- 性教育や食育など健康に関する指導の充実**を図る。

生徒指導の充実

キャリア教育の充実

- 自己指導能力を育成**する。
- 成長を促す指導**(自分の思いを伝えたり、自分で意思決定したことを実践したりするように促す)の充実を図る。
- 自己効力感や自己有用感を高める**学級経営の充実**を図る。「ほめる」より「認める」を重視する指導によって「自分のことを大好き」にする。

- 「**こんな自分になりたい**」という夢や目標をもち、その実現に向けた**頑張り**を積み重ねることで**自尊感情**を高める。
- 「**みんなのために役立つ**」という経験を通して「働くこと」の意義を理解する。
- 知識を活用して学びを深める力を高め、「**学ぶことと自己の将来とのつながり**」を捉えられるようにする。

【推進の手立て】

①子ども

- ・**自発的、自治的な集団活動の充実**を図り、よりよい人間関係や生活を築く力を高める。
- ・児童会と生徒会がつながり、**子どもが主体**となって「つながり」を作る。

②教職員

- ・小中の違いを共有し、「**9分の0年生**」の子どもを育むという意識をもち、学びの積み上げを図る。
- ・学校経営方針や学校要覧等に「小中一貫した教育」を入れて、**教職員の参画意識**を高める。

③その他

- ・「9年間の子どもの育てる教育課程」づくりに向け、グランドデザイン **副葉**は校内周知の参考資料として扱う。
- ・幅広く平岸中学校区を含めた**地域連携の充実**を図っていく。

【推進体制】

①校長打合せ会議

- ・平岸中校長が推進委員長になり、推進事業を司る。
- ・小学校長(1名)が事務局長としての役割を担う。

②実務担当者会議

- ・教頭や教務主任等が実務担当者となり、具体的な取組を企画・運営する。

③全体会

- ・全教職員が参加する全体会を年3回開催する。

大切にしたい3つの構え

聞く

話す

反応する

【検証の方法】

- 成果と課題**を明らかにし、グランド「デザインの見直し」を図る(年度ごとに更新する)。
- 各校の学校評価項目に「小中一貫した教育」を位置付ける。